



▲大中遺跡まつりヒメミコ、火の司と記念写真

▶影がだんだん長くなり、夕暮れも早くなってきました。気が付けば、木々が少しずつ色づき始め、公園や花壇では草花がやさしい陽光をあびて、気持ちよさそうに秋の風に揺られています。「秋の野に 咲きたる花を 指折り(およびおり) かき数ふれば 七種(ななくさ)の花」。春ほど有名ではありませんが、秋の野にも万葉の昔から日本を代表する風情があります。「萩の花 尾花葛花 瞿麦(なでしこ)の花 女郎花また 藤袴 朝貌(あさがお)の花」。全部知っていましたか？一日の中でも寒暖差があります。また、インフルエンザなどの感染症も流行っていますので、体調には十分気をつけてくださいね。

▶行楽の秋、10月4日に大中遺跡まつりが開催されました。例年よりも1か月早い日程で、当日は移ろいやすい空模様でしたが、盛会裏に終えることができました。準備からご尽力いただきました関係各位に心よりお礼申し上げます。また、この時期は町内各地で秋祭りが行われています。これからも、世代を超えた地域コミュニティの交流の場が受け継がれていくことを切に願います。

▶大中遺跡公園のおとなり、兵庫県立考古博物館では秋季特別展として「播磨の考古学」が開催されています。兵庫県の考古学研究の先駆者、今里幾次氏の功績を伝える展示です。また、播磨町郷土資料館でも「大中遺跡の新発見」という特別展を開催しています。こちらは大中遺跡の発見から現在までの研究成果と文化財保護活動の展示会です。学問の秋、この機会に弥生の歴史にどっぷり浸してみるのもいいですね。▶10月6日は「中秋の名月」、まんまる十五夜お月さまは見えませんか？秋は春や夏に比べ空気が澄んでお月さまがくっきりと見えるそうです。そして、冬よりも見やすい高さにあるので、きれいに見える条件がそろっているのです。大きな夢に向かって私も「ムーンショット」を続けていきます。でも、やっぱり月より団子。月見●ーガーが一番です！I'm lovin' it♪

播磨町長 佐伯 謙作



あんぜん・あんしん暮らしのメモ帳

播磨町消費生活センター ☎079-435-1999

お電話ご来訪どちらでもご相談ください。
ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。
▶相談日時 ※専門の相談員が相談に応じます。
毎週月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
9時～12時 13時～16時

訪問購入のトラブルにご注意ください。

〇電話では「海外に送るため、古着、食器を買い取っています」と言われていたのに、家に来たら「貴金属を売ってくれ」と言われ、宝石、アクセサリー、時計を強引に買い取られた。
〇契約書には、「服一式」、「皿一式」、「リング」とだけ書かれていて、何をいくらで買い取られたのかわからない。
(80代女性)

●買い取りを希望した物品以外に売らな
い。
電話で買い取りを希望した物品以外の「貴金属」などを、購入業者が突然勧誘するのは、法律で禁止されています。
●買い取りを希望しない物品は見せない。
強引な勧誘に負けて買い取られてしまうことがあります。
●契約書面はよく確認を！
契約書面に物品名や価格が具体的に記載されているか確認しましょう。
●突然事業者が訪問してきたときや、強引に物品を買い取られたときなどは、播磨町消費生活センターにご相談ください。



楽屋裏

『てんいちさん』と『たてよこさん』が嬉しそうにしていたので話を聞いてみました。どうやら大中遺跡まつりで、いっぱい名前を呼んでもらえたみたい。缶バッジも大人気でした。それに、認知症予防週間のオレンジスカーフを巻いてもらったり、乳がん検診啓発のピンクリボンをつけてもらったりしたそうです。いっぱいお手伝いできてよかったね！
これからも一緒に播磨町の情報をお届けします。目指せミャ○ミャ○！(藤)

播磨南中学校

『みんなで育てる南中ツリー』生徒総会

5月8日、全校生徒が体育館に集まり、生徒総会が行われました。事前に学級会で議論された各委員会の活動案や目標について、各委員長が質問や要望に答える形で進められました。生徒たちは真剣に資料を見つめ、他クラスの意見にも耳を傾けていました。最後には今年度のスローガン『みんなで育てる南中ツリー』が発表され、横断幕も披露されました。このスローガンには、みんなの手で南中



▲令和7年度のスローガン

『みんなで育てる南中ツリー～活気あふれる笑顔の実～』



▲生徒総会

という木(ツリー)を育て、活気あふれる笑顔の実をたくさん実らせていきたいという強い思いが込められています。今年度は生徒会が主体となつて朝の全校集会を実施し、各委員会の活動の呼びかけやコンファレンスの表彰、元気づけ校歌が歌える生徒会を目指し、練習も行ってきました。これからも自分たちの学校生活をよりよいものにするため、主体的に行動し、地域からも応援される南中生徒会をみんなが築いていこうと日々頑張っています。

これからのため池を考える勉強会

東播磨地域は全国でも有数のため池集積地です。播磨町にも12のため池があります。ため池は地域の農業を支える大切な役割でした。町内の農地が減るにつれてため池の役割も徐々に変化を見えています。
播磨町には「播磨町ため池協議会連絡会」があります。これは平成17年に立ち上がった組織で、町内のため池により関心を持ってもらうことを目的に活動しています。町内12のため池のうち3つ(北池、新井大池、妹池)のため池には、それぞれにため池協議会が設置されています。ため池協議会では、クリーンキャンペーンを実施したり、バードウォッチングや環境学習を開催しています。しかし、ため池協議会の設立から20年が経過し、なぜ設立されたか、どんな役割なのかを知らない方も増えてきました。そこで、「ため池協議会とはなにか？」についての勉強会を開催しました。そこでは、もともとため池は農家を中心になって



▲ため池勉強会の様子

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする

まちアド通信

協働推進課住民協働係
☎079-435-2364